

**JASDAQ** 銘柄コード 7564

# 2011年3月期 第3四半期決算説明会

～ オリジナル商品の開発と新規地区への出店で基盤強化 ～



**株式会社 ワークマン**

2011年2月3日

# ご説明内容

---

- ・第3四半期決算の概要 .....P3~P10
- ・2011年3月期決算の見通し .....P11~P13
- ・取組み状況 .....P14~P18
- ・第3四半期決算の詳細 .....P19~P24

---

# **第3四半期決算の概要**

*2011年3月期決算の見通し*

*取組み状況*

*第3四半期決算の詳細*

# 決算の概要1

## 第3四半期累計期間 4月～12月



<百万円、%>

	2010年3月期		2011年3月期	
	第3四半期累計期間		第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	36,587	△5.8	39,716	+8.6
(既存店売上高)	—	△8.5	—	+6.6
営業総収入	25,600	△7.2	28,395	+10.9
販売費及び一般管理費	5,256	△1.1	5,698	+8.4
営業利益	2,867	△14.9	3,498	+22.0
経常利益	3,504	△14.2	4,171	+19.0
特別損失	29	+43.9	493	—
四半期純利益	1,871	△13.7	1,950	+4.2
1株当たり四半期純利益	91円73銭		95円59銭	

# 決算の概要2

## 第3四半期会計期間 10月～12月



<百万円、%>

	2010年3月期		2011年3月期	
	第3四半期会計期間		第3四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	14,277	△2.4	15,354	+7.5
(既存店売上高)	—	△5.1	—	+5.6
営業総収入	10,011	△4.0	11,041	+10.3
販売費及び一般管理費	1,794	△0.1	1,989	+10.9
営業利益	1,502	△0.3	1,688	+12.4
経常利益	1,719	△2.6	1,915	+11.4
特別損失	16	+472.1	50	+199.9
四半期純利益	920	△1.3	1,011	+9.8
1株当たり四半期純利益	45円14銭		49円56銭	

# 第3四半期決算のポイント

## 出店状況

- 開店 13店舗、閉店 5店舗
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 1店舗
- 2010年12月末 657店舗  
(2010年3月末比 +8店舗、2009年12月末比 +15店舗)

## 店舗運営形態

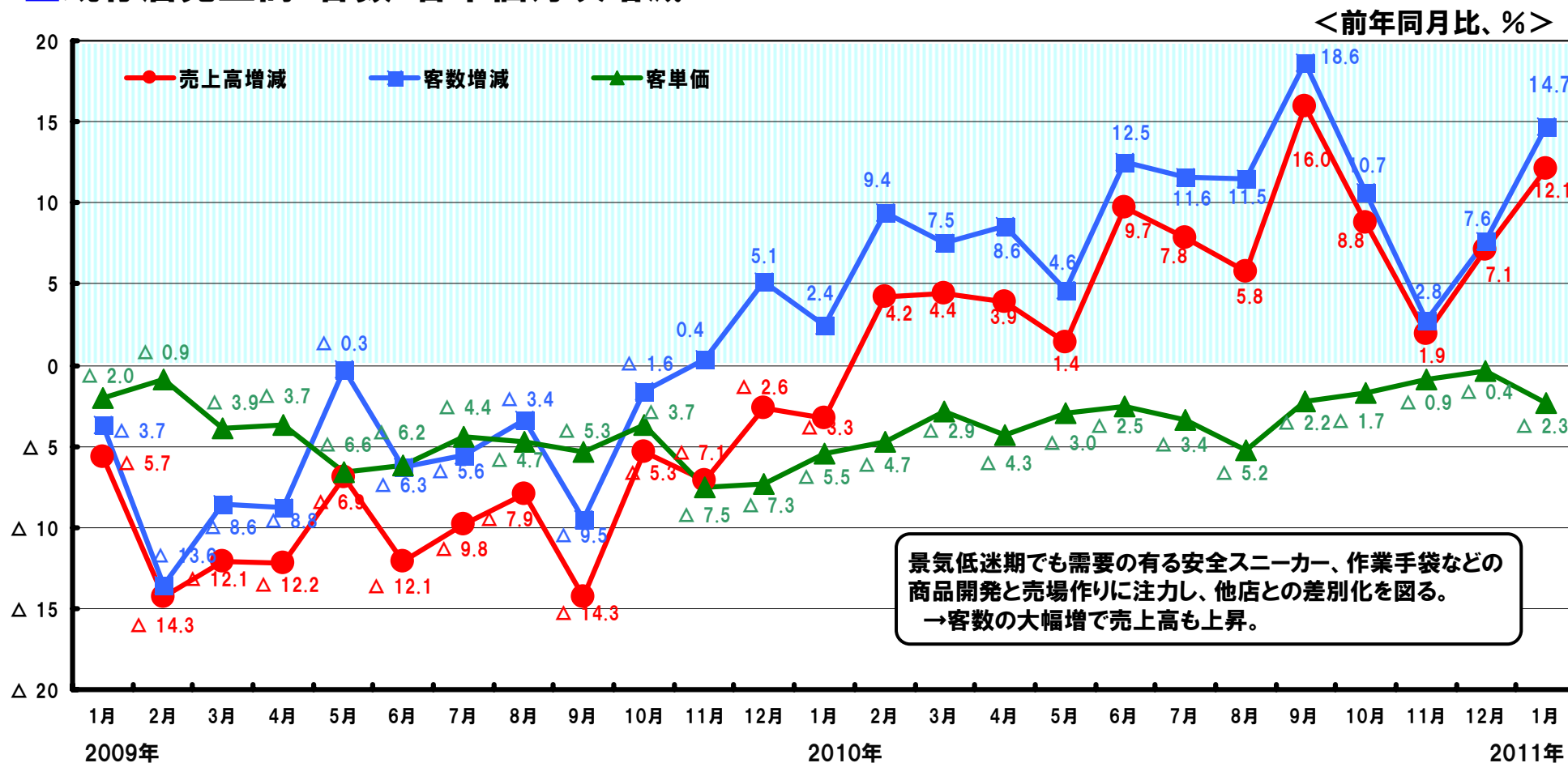
- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2010年12月末 508店舗  
(2010年3月末比 +9店舗、2009年12月末比 +4店舗)
- FC店舗比率 77.3%  
(2010年3月末比 0.4ポイント増、2009年12月末比 1.2ポイント減)

## 商品力強化

- エブリデー・ロー・プライス商品(低価格政策商品)を新規に 158アイテム開発  
エブリデー・ロー・プライス商品の売上高 165億42百万円(前年同期比 +19.5%)
- チェーン全店売上高に占める構成比 41.7%(前年同期比 3.9ポイント増)
- 販売点数構成比 55.8%(前年同期比 3.7ポイント増)

# 月次推移と要因

## ■ 既存店売上高・客数・客単価月次増減



景気低迷期でも需要の有る安全スニーカー、作業手袋などの商品開発と売場作りに注力し、他店との差別化を図る。  
→客数の大幅増で売上高も上昇。



# 販売状況 第3四半期累計期間 4月～12月



チェーン全店売上高 397億円

<前年同期増減率>

	チェーン全店	既存店
売上高	+8.6%	+6.6%
客数	+11.7%	+9.5%
1日当たり平均客数	—	104人(+9人)
客単価	2,242円	2,251円
	△2.8%	△2.7%
1品単価	799円	801円
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しています。



# 商品別売上前年同期比と要因

チェーン全店売上高前年同期比 +8.6%

<前年同期増減率>

商品別	2010年3月期 第3四半期累計期間	2011年3月期 第3四半期累計期間	要 因
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロンなど	△5.3%	+11.4%	春夏:メッシュ靴下の重点販売 秋冬:防寒肌着の重点販売
カジュアルウェア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾンなど	△9.2%	+14.6%	春夏:吸汗速乾半袖Tシャツの重点販売 秋冬:裏起毛ハイネック、身体にフィット するコンプレッションシャツ好調
ワーキングウェア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・着衣料など	△9.3%	+6.6%	春夏:消臭や吸汗速乾加工した作業服 好調 秋冬:動きやすい軽防寒ジャンパー好調
履 物 安全靴・地下足袋・長靴・安全 スニーカー・厨房シューズなど	△1.5%	+7.8%	通年:安全スニーカー売場の改装効果 厨房シューズ好調
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメットなど	△4.9%	+9.6%	通年:作業手袋売場の改装効果 秋冬:防寒合羽好調
そ の 他 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・介護衣料など	+2.4%	△1.2%	通年:低価格の食品白衣好調 前年の使い捨てマスク特需の反動
合 計	△5.8%	+8.6%	重点商品の販売で他店との差別化

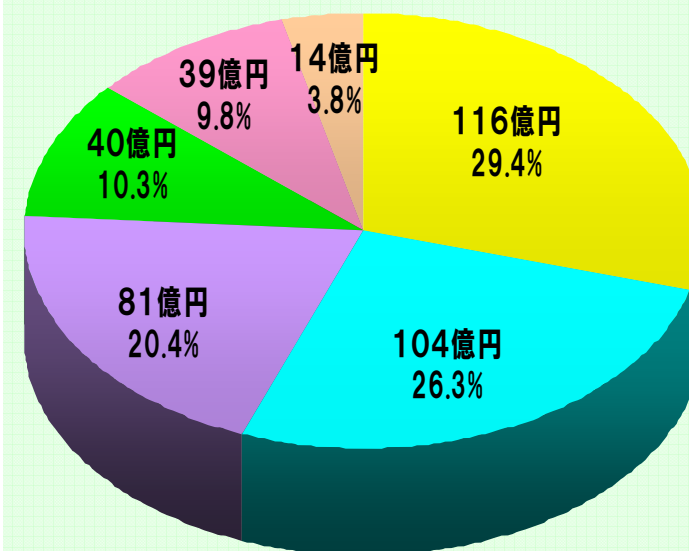
# 商品別売上構成

## ■チェーン全店商品別売上構成比前年同期比較 (%)

		2010年3月期 第3四半期 累計期間	2011年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期増減
衣料	ファミリー衣料	9.6	9.8	+0.2
	カジュアルウェア	9.7	10.3	+0.6
	ワーキングウェア	29.9	29.4	△0.5
用品	履物	20.6	20.4	△0.2
	作業用品	26.1	26.3	+0.2
その他	白衣・ユニフォーム	4.1	3.8	△0.3
合計		100.0	100.0	

## チェーン全店売上高397億円

■ ワーキングウェア    ■ 作業用品    ■ 履物  
■ カジュアルウェア    ■ ファミリー衣料    ■ 白衣・ユニフォーム



※金額は表示単位未満を切り捨てております。

---

第3四半期決算の概要

 **2011年3月期決算の見通し**

取組み状況

第3四半期決算の詳細

# 決算の見通し



<百万円、%>

	2010年3月期		2011年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	47,675	△3.6	51,000	+7.0
(既存店売上高)	—	△6.4	—	+5.2
営業総収入	33,319	△4.3	36,654	+10.0
販売費及び一般管理費	7,059	△0.5	7,593	+7.6
営業利益	3,561	△8.6	4,187	+17.6
経常利益	4,434	△8.1	5,060	+14.1
特別損失	113	+55.4	534	+370.2
当期純利益	2,482	△8.4	2,544	+2.5
1株当たり当期純利益	121円69銭		124円72銭	
1株当たり配当金	37円00銭		37円00銭	

# 2011年3月期決算の見通しポイント

## 売上計画

- チェーン全店売上高 510億円(前期比 +7.0%)
- 既存店売上高前期比 +5.2%を想定
  - 〃 客数前期比 +8.0%~+10.0%を想定
  - 〃 客単価前期比  $\Delta 2.5\% \sim \Delta 4.5\%$ を想定
- 下半期チェーン全店売上高前年同期比+5.0% 既存店前年同期比+3.4%を想定  
(2010年3月期下半期実績 チェーン全店+0.4% 既存店 $\Delta 2.4\%$ )

## 利益計画

- 販売上位アイテムの原価低減と在庫管理の徹底で  
フランチャイズ・ストア荒利率を向上(前期比 0.2ポイント向上の 35.1%)  
→売上高増と荒利率向上で加盟店からのロイヤリティ収入増(前期比 +9.1%)
- 流通センター取り扱い商品増で業務受託収入増(前期比 +7.7%)
- 特別損失  
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 4億16百万円計上  
(第1四半期決算で計上済み)

---

第3四半期決算の概要

2011年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第3四半期決算の詳細

# 出店計画

## 2011年3月期計画

- 開店 24店舗、閉店 5店舗で、668店舗(前期末比 +19店舗)  
人口の多い、南関東、近畿エリアのドミナント形成と新規エリアへの進出で客数拡大
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 2店舗

### ■ 出店状況

<店舗数>

地域	4月~1月 出店実績	通期見通し
東北	0	1
関東	6	9
中部	2	2
近畿	4	5
中国	4	6
九州	0	1
合計	16	24

※通期見通しの地域毎の内訳は、2011年1月末現在の出店実績と契約状況(開店準備中10物件)を踏まえて見通しを立てております。

2011年3月  
福岡県に出店を計画  
九州での店舗展開スタート



■ 出店地域(2011年1月末現在)  
■ 重点開発地域  
■ 未出店地域

# フランチャイズ(FC)化の推進

2011年3月期計画

■フランチャイズ・ストア(加盟店A契約)509店舗(前期末比 +10店舗)

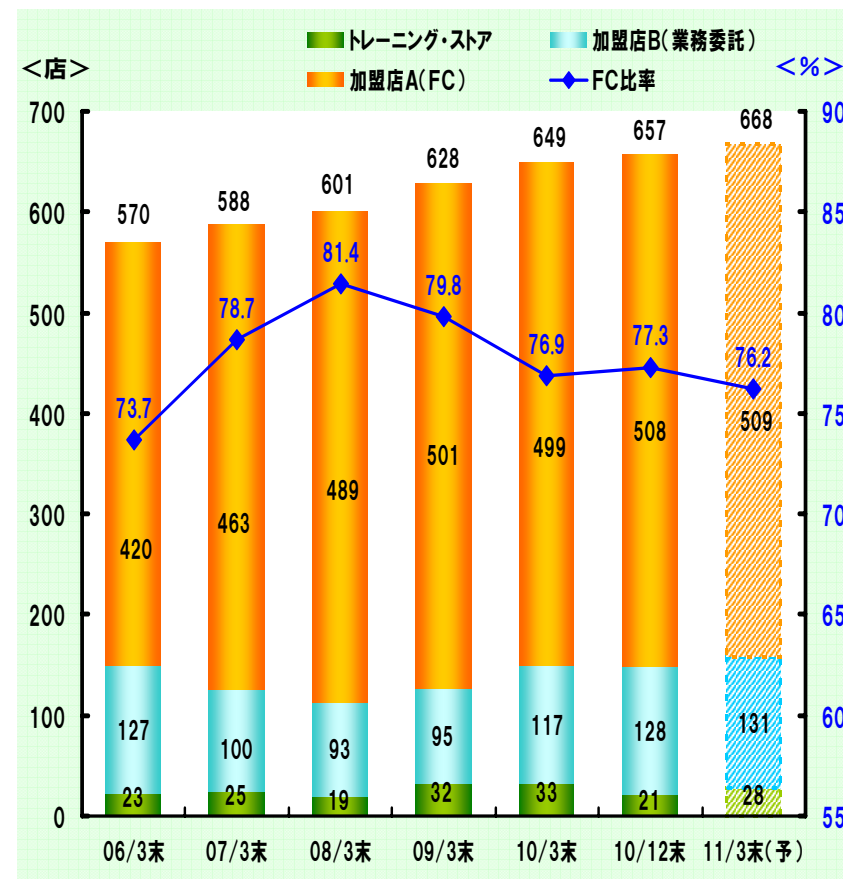
## ■FC化状況

・4月～12月の店舗運営形態の推移

	<店>		
	増加	減少	増減合計
加盟店A契約 (内B契約からの変更)	+34 (20)	△25	+9
加盟店B契約 (内A契約からの変更)	+38 (6)	△27	+11
トレーニング・ストア	+25	△37	△12

※加盟店契約数の中に契約更新数は含めておりません。

※減少数の中に他運営形態への変更も含んでおります。





# エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品の推進

## 2011年3月期 エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品販売計画

■チェーン全店売上高に占める構成比 43.0%(前期実績38.2%、前期比4.8ポイント増)

### ■販売状況

	2010年3月期第3四半期実績		2011年3月期第3四半期実績			2011年3月期通期計画	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
EDLP合計	13,842	37.8	16,542	41.7	+19.5	21,930	43.0

### ■開発アイテムを絞り、コア(核)商品に集中

販促媒体と売場作りを連動させてコア商品をアピール

- ・あったかインナーシリーズ(長袖シャツ・半袖シャツ・長ズボン下)

売価780円 販売数 16万着

(防寒肌着販売金額前年同期比 +89.8%)

- ・裏起毛ハイネックシャツ

売価499円 販売数 13万着

(秋冬物ハイネックシャツ販売金額前年同期比 +52.4%)

※販売数と販売金額前年同期比は第3四半期累計期間の実績です。



# オリジナル商品開発と海外直接貿易取引の推進

- PB商品「WORKMAN BEST」の開発で他店との差別化  
→2011年1月より全店で展開スタート

## ■海外直接貿易取引

- ・目的 コスト削減による利益率向上  
商品の安定供給  
原価上昇リスクへの備え

### ・取組み状況

商品生産、物流システムの実験と検証

→販売状況、供給体制等を検証し商品と取引量を順次拡大

#### 海外直接貿易取引商品の一例

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| ・作業靴           | (売価499円 2010年 9月導入) |
| ・純綿すべり止め手袋1ダース | (売価680円 2010年10月導入) |
| ・パイル靴下2足組      | (売価199円 2010年11月導入) |
| ・綿混カーゴパンツ      | (売価980円 2010年12月導入) |

---

## 第3四半期決算の概要

2011年3月期決算の見通し

取組み状況

# 第3四半期決算の詳細

# 貸借対照表1



<単位:百万円>

資産の部	2010年3月期 期末	2011年3月期 第3四半期末	増減	増減要因
流動資産	20,723	23,469	2,745	
現金及び預金	11,752	14,841	3,089	
加盟店貸勘定	4,191	4,102	△89	対象店舗が9店舗増加(453店舗→462店舗) 貸付金の返済で1店舗当たり約37万円減少
商品	3,962	3,648	△313	流通センター在庫が2億58百万円減少 店舗在庫は直営店1店舗減少と平均在庫減少により約55百万円減少
固定資産	13,289	13,439	150	
有形固定資産	6,789	6,698	△91	
建物(純額)	2,563	2,409	△153	出店・閉店状況 出店13店舗、S&B1店舗、閉店5店舗 出店形態(S&B含む) 建物リース 14店舗
構築物(純額)	648	678	29	資産除去債務会計基準の適用により取り壊し費用の未償却残高相当額1億19百万円(建物39百万円、構築物79百万円)計上
土地	2,966	2,966	—	
リース資産	302	372	69	3店舗で88百万円計上
無形固定資産	113	111	△2	ソフトウェア償却費を計上
投資その他の資産	6,386	6,630	244	
差入保証金	5,336	5,376	40	建物リース契約での地主への建設協力金の差し入れ
繰延税金資産	324	540	216	資産除去債務の計上で税効果会計を適用
資産合計	34,012	36,909	2,896	

# 貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2010年3月期 期末	2011年3月期 第3四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	6,101	7,107	1,005	
買掛金・加盟店買掛金	2,427	2,839	412	チェーン全店仕入高3月末より4億53百万円増加
未払法人税等	864	984	119	
その他	1,404	1,902	497	
未払金	932	1,286	353	加盟店A店舗の分配金1億47百万円増 ステップアップ賞顕彰金1億9百万円計上 折込みチラシ代78百万円計上
固定負債	1,412	2,108	695	
リース債務	313	386	73	
資産除去債務	—	552	552	資産除去債務会計基準の適用
負債合計	7,514	9,215	1,701	
株主資本	26,497	27,692	1,195	
純資産合計	26,498	27,693	1,195	自己資本比率 75.0%(2.9ポイント減少)
負債純資産合計	34,012	36,909	2,896	

# キャッシュ・フロー計算書



<単位:百万円>

	2010年3月期 第3四半期累計期間	2011年3月期 第3四半期累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,484	4,120	1,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△573	△262	311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△772	△768	3
現金及び現金同等物の増加額	1,137	3,089	1,951
現金及び現金同等物の期首残高	9,731	11,752	2,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,869	14,841	3,972

## ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー(前年同期比)

- ・税引前四半期純利益が2億1百万円増加
- ・資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額で4億16百万円増加
- ・棚卸資産が減少した事により5億67百万円増加
- ・法人税等の支払額が減少した事により2億43百万円増加

## ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー(前年同期比)

- ・有形固定資産の取得による支出が1億49百万円減少
- ・差入保証金の差入による支出が1億4百万円減少

# 損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2010年3月期 第3四半期累計期間		2011年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	6,191		6,783		+9.6	
加盟店からの収入	4,043		4,514		+11.6	加盟店期中平均店舗数 当第3四半期503店舗、前第3四半期508店舗 5店舗減 加盟店売上高 当第3四半期331億57百万円、前第3四半期313億 49百万円 5.8%増
その他の営業収入	2,147		2,269		+5.7	チェーン全店仕入高前年同期比6.7%増加 業務受託収入6.7%増加
売上高	19,408		21,611		+11.4	
直営店売上高	5,238	(100.0)	6,559	(100.0)	+25.2	直営店期中平均店舗数151店舗(24店舗増加)
加盟店向け商品供給売上高	14,170		15,052		+6.2	加盟店売上高5.8%増
営業総収入	25,600	100.0	28,395	100.0	+10.9	
直営店売上原価	3,305	12.9	4,145	14.6	+25.4	
加盟店向け商品供給売上原価	14,170	55.4	15,052	53.0	+6.2	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	17,476	68.3	19,197	67.6	+9.8	

# 損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2010年3月期 第3四半期累計期間		2011年3月期 第3四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(1,932)	(36.9)	(2,413)	(36.8)	+24.9	仕入れ割戻しの減少で売上総利益率0.1ポイント悪化
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	8,123	31.7	9,197	32.4	+13.2	
販売費及び一般管理費	5,256	20.5	5,698	20.1	+8.4	増減要因 人件費 約7,000万円増加 販売費(ステップアップ賞顕彰金) 約1億5,000万円増加 直営店期中平均24店舗増 約2億5,200万円増加 流通センター運営費用 約600万円増加 一般管理費 約3,600万円減少
営業利益	2,867	11.2	3,498	12.3	+22.0	
営業外収益	659	2.6	695	2.5	+5.5	
営業外費用	22	0.1	23	0.1	+3.9	
経常利益	3,504	13.7	4,171	14.7	+19.0	
特別利益	1	0.0	—	—	—	
特別損失	29	0.1	493	1.7	—	閉店店舗売却損 約300万円 固定資産除却損 約210万円 減損損失 営業不振店5店舗、閉店予定店4店舗、転貸店1店舗、 遊休店4店舗で約7,200万円 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 4億16百万円
四半期純利益	1,871	7.3	1,950	6.9	+4.2	



# 本資料お取扱に関してのお願い

---

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき  
ありがとうございました。**



**株式会社ワークマン**  
銘柄コード:7564(JASDAQ)

**お問い合わせ先:経営企画部IR室**

**TEL:03-3847-8190**

**E-mail:wm\_seibi@workman.co.jp**

**<http://www.workman.co.jp/>**